

# 「中国新生代」の8割はキャリアアップにどん欲

—— 中国の若年層を対象とした意識調査から

一人っ子政策の下で生まれ育った中国の若い世代はどんな意識を持っているのでしょうか。NRIは、1980年以降に生まれた「中国新生代」に焦点を当て、彼らの行動や価値観を把握する調査を行いました。

就労に関する意識を調べたところ、「出世や昇進のためなら、多少つらいことでも我慢する」、対外的に自分の立場を説明

するために「社会的地位や肩書きが欲しい」と考える傾向が、この世代には顕著なことが分かりました。

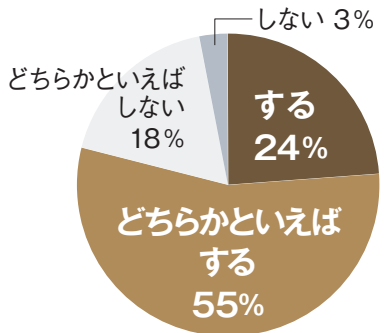
こうした上昇意識の高さは、就職先を選ぶポイントにも表れています。突出しているのは「給与の高さ」「企業のブランドイメージ」「自己成長・スキルアップできる環境であるか」。新生代は将来の転職に備えて、自分自身の

価値を高めることができる職場が重要だと考えていることがうかがえます。

右肩上がりの成長を続ける中国ですが、まだまだ国民のすべてが豊かであるとはいえません。改革開放政策によって、個人の努力や能力次第で望む生活が手に入るようになった中国の人々。新生代はその象徴的な存在といえるでしょう。

## キャリアアップと就労への姿勢

出世や昇進のためなら  
多少のつらいことは我慢するか

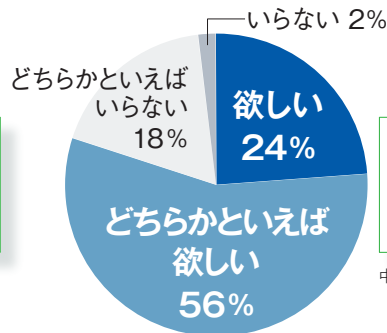


中国新生代の大半の人は  
キャリアアップのためなら  
苦勞をいとわない

中国の18～26歳就労者/N=1,009

## 社会的地位や肩書きに対する意識

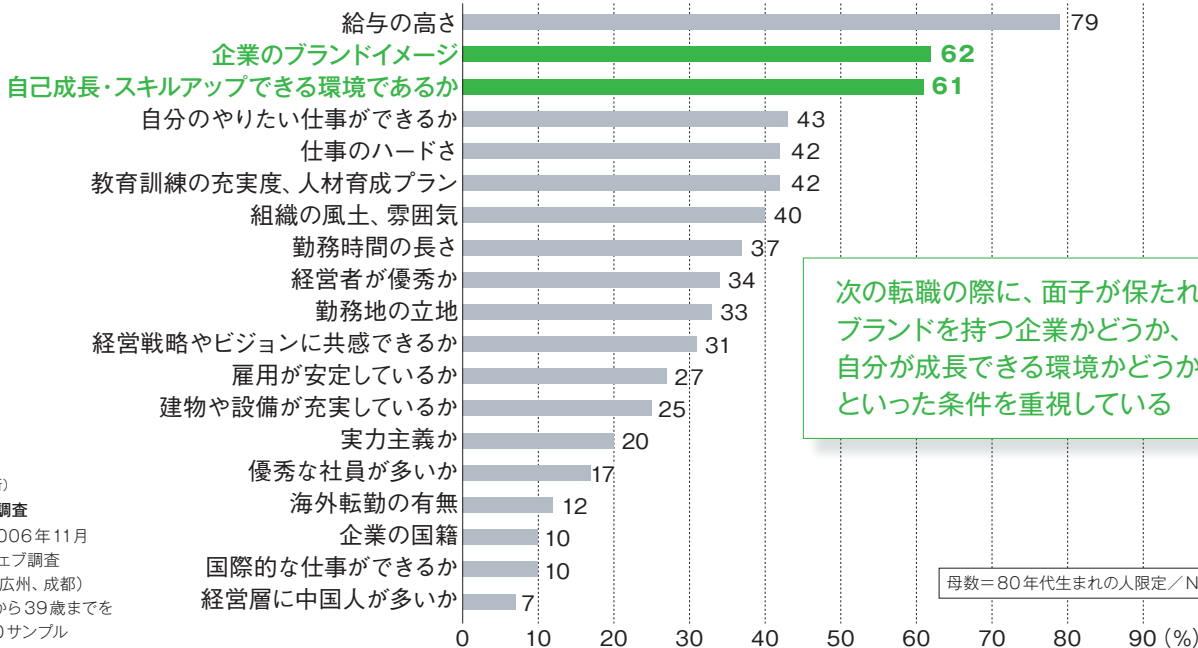
自分の地位・立場を説明するために  
役職や肩書きは欲しいか



役職や肩書きを  
求める声は  
全体の8割を占める

中国の18～26歳/N=2,956

## 就職先を選定する際に最も重視する条件 (複数回答)



次の転職の際に、面子が保たれる  
ブランドを持つ企業かどうか、  
自分が成長できる環境かどうか  
といった条件を重視している

母数=80年代生まれの人数限定/N=3,103

3点のグラフの出所)

NRI「新生代」調査

・調査期間=2006年11月

・調査方法=ウェブ調査

(北京、上海、広州、成都)

・対象=18歳から39歳までを

対象に4,000サンプル

内容のお問い合わせ

TEL 03-6660-8370 (広報部 担当: 潘)

E-mail kouhou@nri.co.jp

株式会社 野村総合研究所 広報部